

白石区の危険物施設で火災事故の対応訓練を実施

危険物施設事業者の皆様へ

6月13日(金曜日)13時30分から、株式会社エネルギーサービス札幌の本社(白石区平和通12丁目北)において、火災や危険物が流出した際の対応訓練が危険物安全週間(6月8日～6月14日)の期間中に実施されました。

本施設は、タンクローリーに灯油や軽油を供給する施設であり、訓練当日は本社社員のほか、白石センターや東センターの社員あわせて約40名が参加されました。

本訓練を計画した次長の岩田さんは「万が一、危険物が流出し火災が発生した場合に備え、通報や初期消火などの対応を再確認する必要があると感じていた。」と訓練への想いを話していました。

訓練では通報と初期消火が行われ、訓練に参加した社員からは、「119番通報で、現在地の住所わからない時は、目標となる建物などの情報を伝える方法があると知れてよかった。」と話していました。

危険物施設の事故は、白石区では昨年3件、今年(7月24日現在)は1件発生しており、全国的には増加しています。

危険物施設の各事業者の皆様におかれましては、万が一の事故発生に備え、このような訓練を定期的の実施いただくことをお勧めします。

訓練を計画いただく時に、どのような訓練を行えばよいかなど、お気軽に札幌市白石消防署(Tel 011-861-2100)までお問い合わせください。



通報訓練の様子



初期消火訓練の様子

